

『若者から話を聞く会』（11/4）※主催：地域おこし協力隊員

- 移住するきっかけと、実際に移住を決めた理由は？
- 今、大野市で暮らしていて感じることは？
- 今後も大野市で暮らしているイメージはありますか？

大野市子ども・子育て会議（11/22）

- こども・若者計画（骨子案）作成のための課題整理
- 若者支援について（グループワーク）

令和6年12月

総合教育会議(12/24)

- こども・若者計画に定める若者育成支援について

令和7年1月

大野市子ども・子育て会議（1/10）

- （仮称）大野市こども・若者計画（素案）について

教育委員会定例会（1/24）

- （仮称）大野市こども・若者計画（素案）について
- パブリックコメント（1/27～）**

5 計画の推進体制と視点

大野市こども・若者計画の施策を着実に実行し、ウェルビーイングな生活の実現に向け、国や県との連携を強化するとともに、子ども・子育て支援事業者や教育関係者と連携を深め、計画の方向性や考え方を共有し、市民や各種団体、事業所などの協力を得ながら取り組みを進めます。

また、取り組みの推進に当たっては、モノや場所、スキルなどの資源を共有するシェアリング・エコノミーの考え方や、家事・子育ての負担感の偏在を解消するジェンダーギャップの視点を取り入れます。

6 伝える・伝わる情報発信と意見聴取

今後も、大野市のこどもや若者、子育て世代に対する支援を分かりやすく取りまとめた「大野ですくすく子育て応援パッケージ」や「結婚・子育てハンドブック」、市公式LINEやウェブサイトなどを活用し、「不安を取り除くためのサービスを伝える情報発信」、「支援を必要とする人に伝わる情報発信」を行います。

また、計画策定時だけでなく、こどもや若者たちが市のこども・若者の育成支援や子育て支援施策に関心が持てるよう、意見を表明する機会を設け、その意見に対して市として責任を持ってアクションを起こしていきます。

7 計画の進行管理

大野市子ども・子育て会議において毎年度、本計画に基づく取り組みの進行管理を行うとともに、次の事務においても実績の確認や評価を行います。

- (1) 第六次大野市総合計画基本計画に基づく施策評価
- (2) 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価
- (3) 大野ですくすく子育て応援パッケージの進捗及び実績確認

第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

こどもイキイキ 若者ワクワク 子育てキラリ 結のまち

「こどもイキイキ」は、全てのこどもが明るく健やかに育つことができるまちを目指すことを表しています。こどもたちがのびのびと成長し、イキイキと過ごせる環境をつくれます。

「若者ワクワク」は、若者が希望と夢を持って前向きに取り組むことができるまちを目指すことを表しています。社会で活躍する若者を応援し、ワクワクするような機会を提供します。

「子育てキラリ」は、子育てをしている人が喜びや生きがいを感じられるまちを目指すことを表しています。子育て世代を支援し、明るく前向きな子育てができるように支援します。また、大野市のこども・若者育成支援や子育て支援が「キラリ」と輝く様子を表しています。



2 こどもまんなか社会の実現

大野市は、県内の市町では一番最初に、県と同時となる令和5年8月3日に「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行い、さまざまなこども・子育て支援施策に取り組んでいます。宣言後も「結婚・子育てハンドブック」の協賛事業所や市制施行70周年記念事業「こどもまんなかフェス」の協力団体、「こども連れで利用しやすい飲食店」などの「こどもまんなか応援サポーター」の市内展開を図ってきました。

今後も、「こどもまんなか応援サポーター」の市内展開を図ることで、こどもまんなか社会の実現、本計画の策定趣旨にあるようにウェルビーイングな生活を送ることができる社会の実現につなげていきます。

3 基本方針

計画策定に当たり、ニーズ調査や意見を聞く機会を設けたところ「大野市の子育て支援は充実している」「大野市の支援はかゆいところ手が届く支援だ」などの意見をいただきました。ただ、その一方で、将来の子育てなどに不安を感じている人がいたり、既に市が提供しているサービスを求める人がいました。

「こどもイキイキ」な社会を実現するためには、こどもの健康と安心安全の確保や困難を有することへの支援、放課後の居場所づくりなどの社会環境の整備を行います。

「若者ワクワク」な社会を実現するためには、若者の交流と活動の促進や結婚を希望する若者への後押しを行います。

「子育てキラリ」な社会を実現するため、「子育ては楽しいもの」「地域で子育てを応援している」といったメッセージを発信する「大野ですくすく子育て応援パッケージ」に取りまとめられた取り組みを継続します。

結婚、出産、子育てに対する考え方が多様化する今、全ての人が100%満足する支援を提供することは難しいことから、市としては、次の基本方針で、**個人の選択を尊重し、自己決定・自己実現を後押し**していきます。

- 1 将来の見通しを立てられる、こども、若者、子育て世帯を主体とした相談支援
- 2 支援を必要とする人に伝わる適時適切な情報発信
- 3 自己決定・自己実現を後押しする必要な支援の提供